



子どもも職員も全員参加する清里キャンプ【子どもの園】

子どもの園はキリスト教の精神を基礎とし、40名の子どもたちと約20名の職員が起居を共に住まいながら生活している児童養護施設です。人々が暮らしてはいるが「住まう」ということがどういふことか分からなくなっている時代に大きな課題を抱え、さまざま事情で、子ども達はやってきます。

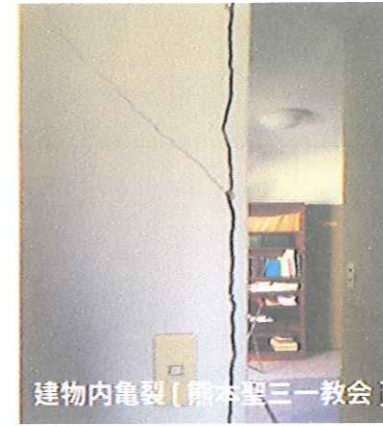
子どもの園は小規模・小舎型の先駆けとして昭和53年に建設されました。築後38年が経過し、老朽化、耐震強度不足、床の沈下などが進んでいる状況です。現在の社会事情、養護施設の措置の内容を踏まえた住まいを整え、新たな「子どもの園」として再生整備、全面改築に踏み出しました。子どもたちが心も身体も安心して住まう場所がもたらされるよう、どうぞお祈りください。

10月23日

だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましよう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。

(ローマの信徒への手紙 8:35)

社会事業の日



建物内亀裂【熊本聖三一教会】



熊本聖三一教会を拠点としたボランティアのようす

九州大震災により、リデルライトホーム及び熊本聖三一教会は大きな被害を被りました。しかし教会もホームも震災以降自らを顧みず、地域の復興に向けて誠心努力をしてきました。地域のため、また菊池恵楓園・黎明教会への支援など日常的に継続した働きがなされております。

先の状況が見えない中、福祉避難所を開設したノットホーム他、大きな被害を受けられた本体の高齢者福祉施設、また礼拝堂・会館・牧師館の復興に向け取り掛かっております。リデルライトホーム及び熊本聖三一教会の復興・耐震補強工事のため、お祈りください。

